

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 7月13日 更新

事務事業名		歯科保健連絡会議運営事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	2	福祉の健康				所属部	健康福祉部	課長名	澤田 勝矢
	施策	5	健康づくりの推進				所属課	健康づくり推進課	担当者名	水口 璃香
	施策の柱	19	病気になる生活習慣の確立				所属班	健康推進班	(内線)	2130
予算科目		会計一般	款4	項1	目6	事業連番11228	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥		
終了、開始年度		☒ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	生涯にわたって口腔の健康を維持することで健康な日常生活を過ごすことを目的として、市では各ライフステージにおける歯科保健事業を展開している。本協議会では、各関係機関が現状を共有し、連絡調整を行うことで、市の歯科保健事業を円滑に遂行するため、年1回程度開催している。 委員構成：志志市歯科医師（代表歯科医師5名）、歯科衛生士会（代表歯科衛生士1名）、学校養護部会（代表養護教諭2名）、認可保育園連盟会、菊池保健所、学校教育課、健康づくり推進課 【経緯】平成10年度～開始（昭和62年、旧合志町にて、地域全体のデンタルIQを高めることを目指し、知識統一のため、保健師や養護教諭、歯科医師で勉強会を始めた。）義務教育期間中は学校保健法が中心となるので、切れ目なくフォローしていくことを目的に、学校教育課も参加している。歯科医師より、現場で活動している歯科衛生士を委員に加えることで、よりよい意見交換ができるのではないかと提案があり、平成21年度から歯科衛生士を委員に追加した。平成25年度は、保育園におけるフッ化物洗口事業開始に伴ない、認可保育園連盟会長をメンバーとして追加した。
【業務の流れ】	会議日程調整、委員委嘱状交付の起案及び会議開催の起案、通知発送、会議資料作成、会議実施、会議録作成、報償費の支払い、欠席者に会議録の送付
【主な予算費目】	報償費、役務費
【意見や要望】	・歯科保健の向上を図るためにも必要なことであると菊池保健所から助言されている。 ・平成20年度歯科保健連絡会議開催時、歯科医師より「現場で活動している歯科衛生士を委員に加えることで、よりよい意見交換ができるのでは」との意見があり、平成21年度から歯科衛生士を委員として追加。その結果、専門的な立場から貴重な意見をいただくことができたとの声あり。 ・会議において、保育園や幼稚園、学校における歯みがきの励行やフッ化物の利用（洗口）など、3歳児健診後の歯科のフォローをどのような形で継続していくかという課題があがっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO) 12月に会議を開催した。 【内容】平成27年度実績報告及び平成29年度事業計画を協議し、関係機関と情報交換を行った。また、本年度は歯周疾患検診の対象者年齢の見直しを行った。		29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 今年度同様実施予定である。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア: 会議開催数	回		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市が行う歯科保健事業(歯周疾患健診・妊婦歯科健診、幼児フッ化物塗布・洗口事業、幼児歯科健診事業)	本	→ ア: 歯科保健関連事務事業数	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
協議会委員による助言・協議のもと、市歯科保健事業が円滑に運営できる。	件	→ ア: 前年度の会議での決定事項のうち今年度実行できなかった項目	
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
本協議会の内容を次年度に生かしていくことが重要であると考えため、決定事項についてどの程度実行できたかを成果指標として設定する。(その際、評価しやすいよう「実行できなかった項目」の件数で評価することとする。)			全体計画
目標値については、決定事項を全て実行に移すことができるよう務めていくことを目標とした。			～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
投 入 費 量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	23	27	27	27			
	人件費	(A) 事業費計	千円	23	27	27	27			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	1	1	3	5			
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間		時間	146	146	150	344			
	(B) 人件費計		千円	581	542	597	0			
			千円	604	569	624	27			

事務事業名	歯科保健連絡会議運営事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	--------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☒ 達成した 歯科医師、歯科衛生士、学校養護教諭、保育園長と、様々な立場から活発に意見交換・情報共有ができた。
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 関係機関と連携し、歯科保健事業の改善等を検討し、よりよい形にしてい。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 会議の場で十分な意見交換がされており、それが市歯科保健事業に取り入れられ、年々事業の内容や実施方法が改善されているという実情がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 平成29年度からは歯科保健関係を歯科保健事業として統合し、事務量の軽減を図る。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 最低限の事業費を計上しているため。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 必要最小限の委員構成としているため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 委員構成は2年交代であるとともに、本会議での決定内容は市歯科医師及び市歯科衛生士に周知しているため、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の歯科保健業務についての検討の場であるため、市が入らずに実施することはできない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

市歯科保健事業をよりよいものにしていくため、また、関係機関が連携を図りながらより円滑に事業を運営していくためにも、とても重要な会議である。今後も定期的に委員構成の見直しを図りながら、活発な意見交換の場となるよう務めていく。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<